

■お問い合わせ
政策推進課 ゼロカーボン推進戦略室
☎ 4-2511 内線 235 ☆ 4-2511 02
e-mail: zerocarbon@town.shimokawa.hokkaido.jp



しまかわゼロカーボン通信
バックナンバーはこちら↓



こんにちは。ゼロカーボン推進戦略室です。前回のしまかわゼロカーボン通信では、EV（電気自動車）について紹介しました。今回は気候変動を抑えるために必要な二つの対策について紹介します。

気候変動を抑えるための 2つの対策

気候変動を抑える対策として、「緩和策」と「適応策」の2つがあります。

緩和策〜気候変動の

「原因を少なくする」

緩和策とは、温室効果ガスの排出削減や、森林整備によって二酸化炭素の吸収量を増やすなど、気候変動の原因を少なくする対策の

ことをいいます。気候変動を抑えるためには、まずこの緩和策に取り組むことが重要です。

主な緩和策

- ・ エコな移動手段を選ぶ
- ・ 節電・省エネに取り組む
- ・ 森林を増やす
- ・ 再生可能エネルギー（太陽光、バイオマス等）を導入する

適応策〜気候変動の

「影響に備える」

適応策とは、気候変動による影響を回避したり軽減したりすることをいいます。緩和策を最大限実施したとしても、今後数十年間はある程度の影響は避けられないと言われており、気

候変動の影響に備える対策をしていくことが必要になります。

主な適応策

- ・ 災害に備えて防災グッズを整備する
- ・ 熱中症予防に取り組む
- ・ 気温の変化や病気に強い作物に切り換える

いかがでしたでしょうか。「緩和策」と「適応策」、2つの対策に取り組み、気候変動の影響を抑え、より良い生活にしていきたいでしょう。



緩和とは？

原因を少なく

2つの 気候変動対策

適応とは？

影響に備える

緩和策の例

- 節電・省エネ
- エコカーの普及
- 再生可能エネルギーの活用
- 森林を増やす
- 温室効果ガスを減らす

適応策の例

- 感染症予防のため虫刺されに注意
- 熱中症予防
- 災害に備える
- 高温でも育つ農作物の品種開発や栽培
- 水利用の工夫

(出典)気候変動適応プラットフォーム(A-PLAT)ウェブサイトより